

観光立国の実現は地方(地域)から

次世代につなげる「交流の木」を植えよう

全国旅行業協会



二階 俊博会長

「観光」は国の成長戦略に盛り込まれるなど、国や地域の経済活性化の起爆剤として注目され、各地で盛り上がる取り組みが相次いでいる。過去と見比べてみれば、今ほど観光が重要視されている時はない。観光は今後どう発展していくのか、新しい年を迎え、日本旅行業協会(JATA)の田川博己会長と全国旅行業協会(ANTA)の二階俊博会長と自民党総務会長に展望していただいた。

青少年交流をさらに促進

田川 国内観光を語るうえで欠かせないものにインバウンドがある。これは絶対数で、1900万人台後半に届く見込みだ。インバウンドとアウトバウンドの人数が逆転するのは1970年以降、非常に歴史的年だった。年間2千万人の数字がはつきり見えてきた。ビザの要件緩和や円安の影響、アジア諸国の発展などいろいろなプラス要因はあったが、元々日本は観光資源が豊かでインバウンドはもともと増えている。ようやくスタートラインに着いたという気持ちだ。

ツーリズムの「見える化」を

田川 国内観光を語るうえで欠かせないものにインバウンドがある。これは絶対数で、1900万人台後半に届く見込みだ。インバウンドとアウトバウンドの人数が逆転するのは1970年以降、非常に歴史的年だった。年間2千万人の数字がはつきり見えてきた。ビザの要件緩和や円安の影響、アジア諸国の発展などいろいろなプラス要因はあったが、元々日本は観光資源が豊かでインバウンドはもともと増えている。ようやくスタートラインに着いたという気持ちだ。

JATA

トップ対談

ANTA

日本旅行業協会



田川 博己会長

田川 国内観光を語るうえで欠かせないものにインバウンドがある。これは絶対数で、1900万人台後半に届く見込みだ。インバウンドとアウトバウンドの人数が逆転するのは1970年以降、非常に歴史的年だった。年間2千万人の数字がはつきり見えてきた。ビザの要件緩和や円安の影響、アジア諸国の発展などいろいろなプラス要因はあったが、元々日本は観光資源が豊かでインバウンドはもともと増えている。ようやくスタートラインに着いたという気持ちだ。

田川 国内観光を語るうえで欠かせないものにインバウンドがある。これは絶対数で、1900万人台後半に届く見込みだ。インバウンドとアウトバウンドの人数が逆転するのは1970年以降、非常に歴史的年だった。年間2千万人の数字がはつきり見えてきた。ビザの要件緩和や円安の影響、アジア諸国の発展などいろいろなプラス要因はあったが、元々日本は観光資源が豊かでインバウンドはもともと増えている。ようやくスタートラインに着いたという気持ちだ。

田川 国内観光を語るうえで欠かせないものにインバウンドがある。これは絶対数で、1900万人台後半に届く見込みだ。インバウンドとアウトバウンドの人数が逆転するのは1970年以降、非常に歴史的年だった。年間2千万人の数字がはつきり見えてきた。ビザの要件緩和や円安の影響、アジア諸国の発展などいろいろなプラス要因はあったが、元々日本は観光資源が豊かでインバウンドはもともと増えている。ようやくスタートラインに着いたという気持ちだ。

田川 国内観光を語るうえで欠かせないものにインバウンドがある。これは絶対数で、1900万人台後半に届く見込みだ。インバウンドとアウトバウンドの人数が逆転するのは1970年以降、非常に歴史的年だった。年間2千万人の数字がはつきり見えてきた。ビザの要件緩和や円安の影響、アジア諸国の発展などいろいろなプラス要因はあったが、元々日本は観光資源が豊かでインバウンドはもともと増えている。ようやくスタートラインに着いたという気持ちだ。

田川 国内観光を語るうえで欠かせないものにインバウンドがある。これは絶対数で、1900万人台後半に届く見込みだ。インバウンドとアウトバウンドの人数が逆転するのは1970年以降、非常に歴史的年だった。年間2千万人の数字がはつきり見えてきた。ビザの要件緩和や円安の影響、アジア諸国の発展などいろいろなプラス要因はあったが、元々日本は観光資源が豊かでインバウンドはもともと増えている。ようやくスタートラインに着いたという気持ちだ。

田川 「観光」は国の成長戦略に盛り込まれるなど、国や地域の経済活性化の起爆剤として注目され、各地で盛り上がる取り組みが相次いでいる。過去と見比べてみれば、今ほど観光が重要視されている時はない。観光は今後どう発展していくのか、新しい年を迎え、日本旅行業協会(JATA)の田川博己会長と全国旅行業協会(ANTA)の二階俊博会長と自民党総務会長に展望していただいた。

田川 「観光」は国の成長戦略に盛り込まれるなど、国や地域の経済活性化の起爆剤として注目され、各地で盛り上がる取り組みが相次いでいる。過去と見比べてみれば、今ほど観光が重要視されている時はない。観光は今後どう発展していくのか、新しい年を迎え、日本旅行業協会(JATA)の田川博己会長と全国旅行業協会(ANTA)の二階俊博会長と自民党総務会長に展望していただいた。

田川 「観光」は国の成長戦略に盛り込まれるなど、国や地域の経済活性化の起爆剤として注目され、各地で盛り上がる取り組みが相次いでいる。過去と見比べてみれば、今ほど観光が重要視されている時はない。観光は今後どう発展していくのか、新しい年を迎え、日本旅行業協会(JATA)の田川博己会長と全国旅行業協会(ANTA)の二階俊博会長と自民党総務会長に展望していただいた。

田川 「観光」は国の成長戦略に盛り込まれるなど、国や地域の経済活性化の起爆剤として注目され、各地で盛り上がる取り組みが相次いでいる。過去と見比べてみれば、今ほど観光が重要視されている時はない。観光は今後どう発展していくのか、新しい年を迎え、日本旅行業協会(JATA)の田川博己会長と全国旅行業協会(ANTA)の二階俊博会長と自民党総務会長に展望していただいた。

田川 「観光」は国の成長戦略に盛り込まれるなど、国や地域の経済活性化の起爆剤として注目され、各地で盛り上がる取り組みが相次いでいる。過去と見比べてみれば、今ほど観光が重要視されている時はない。観光は今後どう発展していくのか、新しい年を迎え、日本旅行業協会(JATA)の田川博己会長と全国旅行業協会(ANTA)の二階俊博会長と自民党総務会長に展望していただいた。

田川 「観光」は国の成長戦略に盛り込まれるなど、国や地域の経済活性化の起爆剤として注目され、各地で盛り上がる取り組みが相次いでいる。過去と見比べてみれば、今ほど観光が重要視されている時はない。観光は今後どう発展していくのか、新しい年を迎え、日本旅行業協会(JATA)の田川博己会長と全国旅行業協会(ANTA)の二階俊博会長と自民党総務会長に展望していただいた。

田川 「観光」は国の成長戦略に盛り込まれるなど、国や地域の経済活性化の起爆剤として注目され、各地で盛り上がる取り組みが相次いでいる。過去と見比べてみれば、今ほど観光が重要視されている時はない。観光は今後どう発展していくのか、新しい年を迎え、日本旅行業協会(JATA)の田川博己会長と全国旅行業協会(ANTA)の二階俊博会長と自民党総務会長に展望していただいた。

田川 「観光」は国の成長戦略に盛り込まれるなど、国や地域の経済活性化の起爆剤として注目され、各地で盛り上がる取り組みが相次いでいる。過去と見比べてみれば、今ほど観光が重要視されている時はない。観光は今後どう発展していくのか、新しい年を迎え、日本旅行業協会(JATA)の田川博己会長と全国旅行業協会(ANTA)の二階俊博会長と自民党総務会長に展望していただいた。



田川 JATA 会長と二階 ANTA はがっちり握手して、両協会の協力を誓った